

# 苫小牧市立拓進小学校

指定年度：H28～  
児童数：793名

## 1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

### ① 教育理念や経営方針の浸透【組織的学校マネジメントの確立、推進に向けて】

- ・グランドデザインの策定に当たっては、本校教育目標や学校経営方針、学校及び児童の実態、今日的教育課題等を踏まえて設定した今年度の重点取組事項の関連を確認、共有することができるようにした。
- ・校務運営委員会、学年主任会議の運営に当たっては、学校経営方針に基づく学校改善に向けた取組の進捗状況を定期的に確認し、適時に改善、修正できるよう、各校務分掌部長、各学年主任により構成する会議を設定した。

### ② 協働意識の高揚【学校経営参画意識の共有に向けて】

- ・学校改善プランに基づく改善サイクルの確立に向け、重点事項の具現化に向けた取組が着実に進められるよう、評価や家庭との連携の手立てを明確にし、改善策を推進した。
- ・全ての学級において、「拓進スタンダード」に基づく授業改善が確実に進められるよう、指導方法や学習過程等が統一された学習指導を行う他、学習規律及び生活規律等についても統一し、指導の充実を図った。

重点取組事項	一人一人に主体的に学ぶ力と確かな学力を育てる取組	協働意識の高揚	特別支援教育の充実
確立した授業改善 ・着目・視覚化、イメージ化した授業 ・指導要領を基盤に多面的な学習機会を確保し、深い学びを促す	確立した宿習管理 ・毎日の宿習の確実な実施 ・宿習の進捗状況を把握し、必要に応じて個別指導を行う	授業活動の推進 ・授業の質の向上を図る ・授業における主体的な学びを促す	特別支援教育の充実 ・支援の手立てを明確にし、効果的な指導を行う ・個別の指導計画を作成し、実施する
4月 学習過程学習指導要領改訂 学習指導要領改訂	家庭学習の手引き配付	「家庭」連携	
5月 研修タイム(研修教員対象)	家庭学習支援 WEB「家庭学習の応援」		支援の手立てを明確にし、効果的な指導を行う
6月 学習・生活アンケート	自主学習指導(24時間)ノート指導(国・算)	移動図書館 図書巡回(1年)	保護者との親睦(個別)の指導計画を作成し、実施する
研修履修への参加	家庭学習支援	図書巡回(1年)	特別支援教育

【「学校改善プラン」より】

### ③ 人材育成【キャリアステージに即した人材育成の推進に向けて】

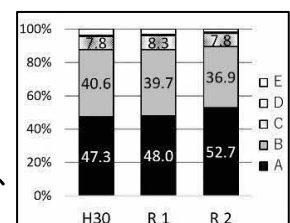
- ・若手教員の育成に向け、担任外教員を各学年の副担任として配置し、授業改善や学級経営の支援に当たるよう、校内体制を整えた。
- ・研修時間を確保するため、校務支援システムを活用した情報共有により各種会議を簡素化・縮減し、放課後の研修時間を生み出し、多様化かつ焦点化した教員研修を実施した。



【若手教員の授業改善支援】

## 2 取組の成果と課題 (□：成果 ■：課題)

- 学校力向上に取り組む学校組織の確立により、「教育課程・指導方法の改善」及び「人材育成」を学校改善の核とする意識が職員全体で共有され、積極的に連携・協働する体制が整った。
- 学校マネジメントの的確な推進により、学校改善に向けたマネジメント・サイクルが確立され、長期の臨時休業に対応した教育課程の調整・適正化が迅速かつ的確に行われた。
- 今後予見される職員数の減少に向け、現在実施している加配教員を活用した若手教員に対する支援の取組をより一層工夫、改善するなど、人材育成に向けた校内体制を構築する必要がある。



【保護者アンケート経年変化「学校は学力を高める授業や取組を行っている」】

【アドバイザーから】 北海道教育大学 学校臨床教授 横藤 雅人 氏  
学級担任の約半数を占める10年目以下の若手教員たちがアクティブに学び、生き生きと力を付けている様子が伺えます。個々の経験差や力量の差をカバーし、資質を伸ばす全校的な取組(例えば「みんなのきまり」など)とその徹底を図る関わりを、ぜひ全道に広めてください。